



神奈川県議員
き さ き
木佐木 ただまさ
日本共産党

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会副会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

多文化共生の街で ヘイトスピーチを許さない



10月14日鶴見駅東口 ヘイトスピーチ許さないアピール

10月14日、鶴見駅東口において、「在日特権を許さない市民の会」(在特会)で数々の人権侵害を起こした桜井誠氏が党首に座る、日本第一党が「反移民デー」と称した宣伝活動を行い、それに抗議する多くの市民が集まり一時騒然となりました。

日本第一党は、8月14日の川崎駅で行った街頭宣伝で「あばれるな！朝鮮人」という横断幕を掲げました。これは明確にヘイトスピーチ解消法に反する人権侵害行為です。

鶴見区は外国籍県民の方も多く、多文化共生を実践してきた街です。その鶴見でヘイトスピーチは許されない党地区委員会主催でアピール宣伝を行いました。

神奈川県は、津久井やまゆり園の事件を受けて、改めて共生社会の実現を目指すことを誓った「共に生きる社会かながわ憲章」を策定しました。価値観や文化が違うことで、困ったり不安になることもあるかと思いますが、こうした



一時騒然となった鶴見駅東口

「違い」を排除して解消するのでは共生社会とは言えません。一人一人の違いは、社会の「彩り」です。互いの「色」を認識し、尊重しあうことが真の共生社会だと私は考えます。憲法の基本的人権の尊重がしっかりと果される社会になるよう、行動していきます。

ヘイトスピーチって？

特定の人種や民族などに対する増悪表現。差別的意識を助長・誘発する目的で、生命、身体、自由、名誉、財産に危害を加えると告げることや、著しく侮蔑するなどして地域社会からの排除をおおる差別的言動

厚生委員会で質疑

先日の厚生委員会では、自民党衆議員の「生産性がない」旨の雑誌への寄稿で多くの非難がなされたLGBTに関して質疑を行いました。

LGBT(性的少数者)自覚の9割が中学生の時

ある調査によれば、当事者の方が、自身の性的指向や性自認を自覚する年齢は約半数が小学校入学前で約9割が中学生の時には自覚をするとのこと。幼少期に社会や周りから自身の価値観を否定されるようなことがあれば、深く傷つくこととなります。まして、傷ついている子どもが児童養護施設や一時保護所ですらに傷つくことはあってはなりません。

昨年8月、厚生省は児童養護施設等でのLGBT等当事者の児童生徒に対する配慮を求める通知を発出しました。これを受けて神奈川県でも職員を対象にした研修の充実を図ることを求めました。

海外では同性カップルの里親は当たり前

子どもたちの養育をするうえで重要な役割を担っている里親制度について、法律は同性カップルが里親になることを何ら禁じていません。海外では、性的虐待を受け男性恐怖症になってしまった女兒に対して、女性カップルの里親に養育をお願いするなどの対応も取られています。

日本ではまだまだ役所などでも誤解されている例が散見されるため、子どもの養育環境の選択肢を保証する観点からも希望する同性カップルも里親になれるように周知することも求めました。すべての子どもが健やかに育まれる社会環境が築かれるよう頑張ります。